

第44回 全日本バレーボール小学生大会（令和6年度）

宮城県決勝大会開催要項

主催	後援	公益財団法人 日本バレーボール協会／日本小学生バレーボール連盟／読売新聞社 スポーツ庁／公益財団法人 日本スポーツ協会日本スポーツ少年団（申請中）／報知新聞社 宮城県スポーツ協会宮城県スポーツ少年団／宮城県大崎市教育委員会／ 宮城県加美町教育委員会
協賛		デサントジャパン株式会社／丸大食品株式会社／ゼビオグループ／ 三井住友信託銀行株式会社／株式会社ピーアンドピー浜松
オフィシャルボール		株式会社ミカサ／株式会社モルテン
主管		宮城県バレーボール協会／宮城県小学生バレーボール連盟

- 大会の趣旨
(1) 教育的配慮の下に、バレーボールを通じて県内の児童の親睦と交流を図る。
(2) バレーボールによる小学生の体力向上とたくましい意欲の養成に努める。
(3) 小学生から正しいバレーボールの基本技術とチームプレーを体得し、楽しいゲームができるよう指導する。
- 開催日 令和6年6月22(土)～23日(日)
- 会場 加美町陶芸の里総合体育館／古川総合体育館／加美町小野田体育館
- 開会式 令和6年6月22日(土)各競技会場にて実施します。
- 監督会議 令和6年6月9日(日) 14:00～ 富谷市富谷スポーツセンター武道館 会議室
※各チーム1名の参加とする。
- 参加資格 (1) 2012年4月2日以降に生まれた者で、同年、5月1日現在、国、公、私立の小学校および各種学校に在学していること。
(2) 公益財団法人 日本バレーボール協会加盟団体登録規程に基づき、令和6年4月1日以降、宮城県大会参加申込書締め切り日までに、公益財団法人 日本バレーボール協会MRSの登録を済ませていること。
なお、宮城県スポーツ少年団に加盟しているチームも、同様の手続きを済ませること。
※宮城県大会期間中に、他チームから登録し、その後移籍した者については認めない。
- 競技規則 令和6年度 公益財団法人 日本バレーボール協会の定める6人制競技規則による。
但し、別に定める小学生バレーボール競技規則を採用する。
テクニカルタイムアウトは1セット1回〈11点／第3セットは8点〉とするが、大会当日の気温等の条件によって、7点と14点の2回とする場合もある。

8. 競技方法 参加チーム数が確定後、競技方法を決定する。3位決定戦は行わない。

(1) 女子の部／混合の部 各ブロック県決勝大会出場数比例配分

	仙台市	県北	仙南	黒川	東部	計
女子の部	5	4	4	3	1	17
混合の部	15	10	4	1	4	34

(2) 男子の部 各ブロックの予選大会は実施せず、直接県決勝大会を実施する。

9 チーム編成 (1)全ての大会(ブロック大会含む)において、チームは監督1名、コーチ1名、マネージャー1名、選手12名の計15名以内とする。

(2)県大会に出場するチームは、監督、コーチ、マネージャーは、同一団体に限り変更できるが、選手については、ブロック大会から全国大会まで同じでなければならない。選手は、病気やけがなど特別な事情が無い限り変更できない。ただし、ブロック大会に11名以内で出場した場合は、12名に満たない人数のみ補充することができる。(特別な交代、補充は同一団体に登録されている選手に限る。)

※都道府県最終予選に参加する選手は、交代することなくそのままのメンバーで全国大会に出場することになるので、チーム編成には十分注意をすること。

ただし、補充については、(2)に準ずる。

(3)監督は成人であること。又、ベンチスタッフの1名以上は日本小学生バレーボール連盟認定指導者・日本バレーボール協会認定準指導員及び公益財団法人 日本スポーツ協会(JSPO)認定バレーボール(コーチ1・コーチ2・コーチ3・コーチ4)が最低1人はベンチに入っていないなければならない。(ただし、本件は、公益社団法人 日本スポーツ協会の制度改正及び日小連指導者資格要領改正の時限措置として、2025年度までは、旧・全国小学生バレーボール指導者1次・2次講習会受講者が最低1人はベンチに入ること、同様に扱うこととする。)また、試合時には証明書等を胸にさげていなければならない。

(4)全国大会出場にあたっては公益財団法人 日本スポーツ協会(JSPO)認定バレーボール(コーチ1・コーチ2・コーチ3・コーチ4)が最低1人はベンチに入らなければならない。

(5)ベンチスタッフは、JVA-MRSに登録され、かつ、宣誓書を提出した者に限る。

(MRSに役員登録している者もチームスタッフとして登録が必要。)

監督、コーチ、マネージャーの服装は、統一された服装でなければならない。また、短パン、Tシャツは不可とし、監督、コーチ、マネージャー章を各チーム側で用意し、必ず左胸に付けること。

ただし、小学生がベンチスタッフとして入る場合、短パン、Tシャツを認める。(Tシャツの色は他のベンチスタッフと異なってもよい。)

(6)成人のベンチスタッフは、日常、子供たちの健全育成を目指して指導に当たっている宮城県小学生バレーボール連盟が認めた者であること。体罰、暴力、暴言、セクシャルハラスメント等、指導者として不適切な行為を行っている者の出場は認めない。

(7)他都道府県在住であって、新年度の登録の際に移籍登録した選手は、ベンチには3分の1以内とする。また、コート上には2名以内とする。他都道府県在住であっても、前年度までに登録していればこの制度の対象とはならない。監督は試合時に、新年度移籍登録選手の番号を審判員と確認しておくこと。

- 10 使用球 公益財団法人日本バレーボール協会が公認する人工皮革軽量4号カラーボール
男子・混合：ミカサ(V400W-L)ボール/女子：モルテン(V4M5000-L)(円周62~64cm
重量200~220g)を使用する。※ボールの内気圧については、6人制競技規則による。
- 11 競技服装 (1)選手の背番号は1~99とするが、1~12番が望ましい。
(2)ユニフォームの背番号の色は、ルールに則って地の色と対照的な色を使用し、誰もが
見え易いものにする。こと。
(3)ユニフォームは胸部もしくは背部にJVA-MRSに届け出たチームネーム又はそれぞれ
特定できる略称を付けること。
(4)混合チームのユニフォームは、男女で違うユニフォームを着用し、番号が重ならない
ようにする。ただし、違うユニフォームを用意できない場合は、同一のユニフォームでも
構わないが、男子・女子のいずれかが、識別用バンドを腕か足首に付けるか、またはソッ
クスの色などでひと目で判別できるようにすること。
- 12 参加料 ¥5,000 監督会議開催日に受付で納入すること。
- 13 申込方法 参加申込の手順は以下の通りとする。

各ブロック予選を行い、ブロック長の推薦を得たチームを各ブロック競技委員長がまとめ
申込期限まで競技委員長に報告する。
<参加申込書はすでに提出している申込書を移行する。>
- 14 申込期限 令和6年6月2日(日)／各ブロック競技委員長の報告をもって申込完了とする。
- 15 表彰 優勝：表彰状／トロフィー 準優勝：表彰状／楯 第3位：表彰状／楯
・各カテゴリーの優勝チームを宮城県代表として、全国大会に推薦する。
・男子の部優勝、女子の部・混合の部の優勝並びに準優勝チームを第39回
東北小学生バレーボール選手権大会宮城大会の宮城県代表として推薦する。
- 16 その他
(1)ユニフォームについて
都道府県名の大きさと位置は、チームネームより小さく(高さ)袖か襟下とする。
混合の男女判別のソックスの長さは、本年度より不可とする。
ベンチスタッフのシャツのイン・アウトはノーコントロールとする。但し、選手は基本
インとする。
ユニフォーム確認を都道府県大会から実施する。(県大会から、様式でメールにて提出す
る。来年度はブロック大会から提出のこと。)
- (2)ベンチの持ち込み物について
飲料水の水筒は、ペットボトル不可だが、スクイズボトルや吸引式のボトルではなく
てもワンタッチ式の蓋つき水筒であれば可とする。ベンチスタッフも同様である。
キャンピングカートは使用禁止とする。
スマートウォッチを時計として使用する事は認める。
(通信機器やカメラとしては使用禁止とする。)
- (3)試合前後のあいさつについて
コロナ過前に戻す。